

ビットコイン週刊フォーキャスト

2025年1月10日 ココスタ運営 佐々木徹

「ビットコイン価格動向レポート」へようこそ！

何名かの受講生の方から「週に1回のレポートだけでは、急激に変化するビットコイン市場の動きを追いきれない」「移動時間などの空き時間でさっと読める、シンプルな市場分析が欲しい」というご要望をいただいております。

そこで、新たに「ビットコイン価格動向レポート」の定期配信サービス（ベータ版）を開始することにいたしました！

【レポートの特徴】

- ・市場の内部構造、ファンダメンタルズ、投資家心理に焦点を当てた本質的な分析
- ・チャートと簡潔な解説で、通勤・通学時間でもサクッと読める
- ・テクニカル分析だけでなく、実需やマクロ環境の変化もしっかりフォロー

【配信頻度】

週1回（毎週水曜か木曜日、もしくはイベント時に配信）

【お断り事項】

- ・本レポートは現在ベータ版として提供しており、サービスを終了する場合がございます
- ・毎週末配信の「トレード通信」と内容が重複する場合がございます
- ・本レポートの内容は、後日「トレード通信」で詳しく解説される場合がございます
- ・本レポートは情報提供のみを目的としており、特定の投資行動を推奨するものではありません
- ・記載されている見解は執筆時点のものであり、予告なく変更される可能性があります
- ・筆者の個人的な見解も含まれているため、記事にはビットコインへのバイアスがかかっている可能性があります

- 口述筆記したものを人工知能で清書しているため、1部機械的な表記になる場合があります
- 投資判断はご自身の責任において行ってください

それでは、今週のビットコイン市場を掘り下げていきましょう！



<https://www.tradingview.com/x/xHMa3YgL/>

シルクロードBTC売却承認の真相と市場動向：表面的な報道の裏にある本質

こんにちは！今週は、市場を揺るがしている2つの大きな動き、シルクロードビットコインの売却承認と、それに関連する価格動向について深掘りしていききたいと思います。

最近の価格動向を読み解く

ビットコインは1月7日を境に大きく下落し、史上最高値となる100,000ドル超えから92,000ドル台まで急落しました。一見するとシルクロードビットコインの売却承認のニュースが原因のように見えますが、実はもっと複雑な状況が背後にあるようです。

下落の真の要因

実は今回の下落には、あまり報道されていない重要な要因があります：

1. 米国の大口保有者が山火事の復旧資金確保のために一部売却
 2. それを見越した短期筋の売り仕掛け
 3. 高値圏での利益確定売り
- これらの要因が重なり、一時的な下落を引き起こしたと考えられます。

技術的なサポートレベル

現在、重要な価格帯が2つあります：

1. 12月31日のハッシュファインダー：94,000ドル
2. 12月20日の中銀ハンター：92,600ドル

この2つの価格帯でビットコインは強い反発を見せており、市場参加者がこのレベルを重要なサポートとして認識していることが分かります。

今後の展開シナリオ

現在の価格帯（92,000-94,000ドル）からの展開として、以下の2つのシナリオが考えられます：

1. 上昇シナリオ：
 - 直近高値の102,000ドルまでの約10,000ドルの上昇
 - サポートラインからの力強い反発が鍵
2. 下落シナリオ：
 - 92,000ドル割れで82,000ドルまでの下落の可能性
 - ただし、追加的な売り材料が必要

シルクロード売却承認の真相

ここで、市場を揺るがしているシルクロードビットコインの売却承認について、重要なポイントを整理してみましょう。

承認の実態

報道されている「売却承認」は、実際には：

1. 売却手続きの開始が承認されただけ
2. 実際の売却までには複数の手続きが必要
3. 完了までには数ヶ月から半年以上かかる可能性

政治的な不確実性

1月20日のトランプ大統領就任を控え、以下の点に注目が集まっています：

- トランプ氏の「ビットコイン非売却」方針との矛盾
- 「戦略的ビットコイン準備金」創設の公約
- 政権交代後の政策変更の可能性

過去の大規模売却から学ぶ

2014-15年のシルクロード関連ビットコインの売却事例は、現在の状況を理解する上で重要な示唆を与えてくれます：

1. ティム・ドレイパー氏による約40,000BTCの取得
2. 市場への影響は限定的
3. 比較的速やかな価格の回復

現在との違い

2025年の現在は、当時と比べて：

- 市場の流動性が格段に向上
- 機関投資家の参入により吸収力が増大
- ETF承認による新たな資金流入の可能性

投資家へのアドバイス

このような状況下での投資判断のポイントは：

1. **技術的サポートの重視**
 - 92,000-94,000ドルのサポートゾーンに注目
 - 下抜けの場合は82,000ドルまでの調整を覚悟
2. **売却承認の影響を過大評価しない**
 - 実際の売却までには時間がかかる
 - 市場の吸収力は過去より向上
3. **政治的な動向を注視**
 - トランプ政権の方針が鍵
 - 政策変更の可能性を考慮
4. **長期的な視点を維持**

- 短期的なノイズに惑わされない
- 市場の構造的な強さに着目

まとめ：今後の展望

現在の市場状況は、表面的なニュースだけでは理解できない複雑な要因が絡み合っています。

92,000-94,000ドルのサポートゾーンが維持される限り、市場は底堅い展開が期待できます。ただし、このレベルを割り込んだ場合は、82,000ドルまでの調整の可能性も視野に入れる必要があります。

シルクロードビットコインの売却承認については、その実態を正確に理解し、過度な懸念を持たないことが重要です。過去の事例や現在の市場環境を考慮すると、実際の売却が行われたとしても、市場は十分に吸収できる力を持っていると考えられます。

むしろ投資家は、このような一時的な材料に振り回されることなく、長期的な視点でポジション管理を行うことが賢明でしょう。特に現在の価格帯は、重要な技術的サポートと一致しており、投資判断の重要なポイントとなっています。

引き続き、技術的指標と政治的な動向を注視しながら、冷静な判断を心がけていきましょう。

今週は以上です。ハッピー・ビットコイン！

追記：トランプ大統領の戦略的な沈黙を読み解く

今回の売却承認に対して、トランプ大統領からの直接的なコメントは出ていません。一見すると不可解に見えるこの沈黙ですが、実は極めて合理的な理由があると考えられます。

政治的優先順位の問題

現在、トランプ大統領が直面している最重要課題は：

1. カリフォルニアの山火事対応
2. 被災者の救済措置
3. 復興資金の確保

このような状況下で、ビットコインの売却問題について強い発言をすることは、政治的に賢明とは言えません。

有権者層の現実

重要な統計データがあります：

- 米国有権者の暗号通貨保有者は全人口の約21%（2024年推計）
- 残りの79%は暗号資産を保有していない

この数字は、政治的な意思決定において非常に重要な意味を持ちます。なぜなら：

1. 非保有者層の規模が圧倒的に大きい
2. 彼らの多くは「被災者救済の方が優先」と考える可能性が高い
3. この層を軽視することは政治的リスクとなる

戦略的な判断

トランプ氏の沈黙は、以下のような戦略的判断に基づいていると考えられます：

1. 短期的な対応
 - 山火事対応を最優先
 - 被災者救援に注力する姿勢を示す
 - 不要な政治的対立を避ける
2. 長期的な視点
 - 就任後の政策実行に向けた地盤作り
 - 幅広い支持層の維持
 - 暗号資産政策の段階的な展開

今後の展開シナリオ

この状況を踏まえると、以下のようなシナリオが考えられます：

1. 短期（就任前）
 - 売却承認に関する直接的なコメントは控える
 - 災害対応に集中する姿勢を維持
2. 中期（就任直後）
 - 被災者支援策を優先的に実施
 - 暗号資産政策は段階的に展開
3. 長期（政権安定期）
 - 「戦略的ビットコイン準備金」構想の具体化
 - より積極的な暗号資産政策の展開

ココスタ 佐々木徹